

年 組 名前：

コハクチョウ 3年ぶり飛来 中央市

中央市の鎌田川と笛吹川流域に

コハクチョウが飛来し、野鳥愛好家らが

写真に収めている。

やまなし野鳥の会によると、同所への飛来は

2023年以来3年ぶりとみられる。

同会によると、コハクチョウは

オオハクチョウと比べてくちばしの

黄色い模様が小さいのが特徴。

夏季はシベリア地方などで過ごし、日本に渡って越冬する。

鎌田川と笛吹川流域では冬になると数羽のコハクチョウが飛来し、越冬する。今年は、同会が今月6日に

6羽のコハクチョウの姿を確認。16日午前には3羽のコハクチョウが優雅に泳いだり

水中に頭を入れて餌を探したりしていた。

餌がなくなると移動することもあるが、状況次第では3月ごろまでとどまることもある。同会の

窪田茂名誉会長は「久しぶりに飛来してくれてうれしい」と喜び、「山梨で無事に冬を越せるよう、

遠くから見守ってほしい」と呼びかけている。

優雅に泳ぐコハクチョウ=中央市内(16日撮影)

問1 記事を「音読」してみましょう。

問2 中央市の鎌田川と笛吹川流域に、コハクチョウが飛来しました。16日午前には、

なにをしている姿が見られましたか。



優雅に泳ぐコハクチョウ

=中央市内(16日撮影)

中央市の鎌田川と笛吹川流域にコハクチョウが飛来し、野鳥愛好家らが写真に収めている。やまなし野鳥の会によると、同所への飛来は2023年以来3年ぶりとみられる。

同会によると、コハクチョウと比べて

ウはオオハクチョウと比べて

くちばしの黄色い模様が小さ

いのが特徴。夏季はシベリア

地方などで過ごし、日本に渡

つて越冬する。

鎌田川と笛吹川流域では冬

になら数羽のコハクチョウ

が飛来し、越冬する。今年は、

同会が今月6日に6羽のコハ

クチョウの姿を確認。16日午

前には3羽のコハクチョウが

優雅に泳いだり、水中に頭を

入れて餌を探したりして

いた。餌がなくなると移動する

ことがあるが、状況次第では3

月ごろまでとどまることがある。

同会の窪田茂名誉会長は「

うれしい」と喜び、「山梨で無事に冬を越せるよう、

から見守ってほしい」と呼びかけている。(松本飛鳥)

同会が今月6日に6羽のコハ

クチョウの姿を確認。16日午

前には3羽のコハクチョウが

優雅に泳いだり、水中に頭を

入れて餌を探したりして

いた。餌がなくなると移動する

ことがあるが、状況次第では3

月ごろまでとどまることがある。

同会の窪田茂名誉会長は「

うれしい」と喜び、「山梨で無事に冬を越せるよう、

から見守ってほしい」と呼びかけている。(松本飛鳥)

(2026年1月17日付 山梨日日新聞18面)